

2018 年度も、職員の行動指針をもとに、国際協力に関心のある・参加する人にスポットを当てた活動を展開しました。

FUNN 職員行動指針

「人と世界をつなぐ」

「国際協力に関心があり、世界を知りたい・行動したい・サポートが欲しいと思っている人たち」に向けた活動。世界で起こる問題と私たちの暮らしとの関係性、私たちにできる関わり方や、必要な知識とスキルを伝えていく事で、国際協力への次の行動や選択肢を見つけることができる人を増やしていく。そうした人々が加盟団体につながることで、活動の活性化、発展を促す。

「NGO に関わる人と人をつなぐ」

「加盟団体の理事・職員・支援者・参加者」に向けた活動。同じ国際協力に関心を持つ人や、似た環境にある人同士や世代を超えた関係性をつくり、お互いの学びの場や居場所と感じられる場を提供する。加盟団体における個人同士のつながりを生み出すことで、組織間の協力を促進する。

「NGO と他セクターをつなぐ」

「NGO と、企業・教育機関・行政などの他セクター」に向けた活動。セクター間の協働への関心を引き、具体的な事例を紹介し、連携に向けてのアドバイスをを行い、NGO と他セクターのつながりを生み出す。協働の可能性と力を広げていくことで、NGO の社会的基盤づくりを促進する。

事業報告 目次

1	2018 年度事業別報告	
1-1	NGO の活動や運営に関する支援	2
1-2	国際協力に関する調査・提言	4
1-3	国際協力に関する情報・学習機会の提供	8
1-4	NGO 活動に関する人財育成	13
1-5	NGO 間及び各種団体との連携促進	14
2	組織	
2-1	組織運営・体制	15
2-2	会員	16

1. 2018 年度事業別報告

1-1. NGO の活動や運営に関する支援

1-1-1. 2018 年度の方針

情報提供と組織・能力強化支援を中心に、団体活動の活性化を目指します。

1-1-2. 2018 年度の活動

① 助成金、NGO 活動に資する情報の提供

■ 情報提供や人材紹介

○実施内容

主にメールを通して、外務省や JICA、JANIC などからのイベント情報、助成金情報、物品寄付、声明や賛同に関する情報などの提供を行いました。

○成果

前年度同様、2018 年度は九州地域 NGO 活動助成金事業を加盟団体から九州 7 県の団体に広げて公募を行いました。その結果、福岡より 3 団体、佐賀より 1 団体、熊本より 1 団体の応募がありました。

② 広報活動の支援

■ 情報の発信

○実施内容

メール、ホームページ、SNS、メールマガジン、機関紙などを通して、加盟団体をはじめとした NGO の情報発信を行いました。

○成果

加盟団体から依頼を受けた情報については滞りなく配信することができました。

③ NGO の組織・能力強化の支援

■ 九州地域 NGO 活動助成金（真如苑共催）

○実施内容

宗教学法人真如苑との共催で、対象を加盟団体から九州地域に広げて助成金事業を企画、実施しました。5 団体からの応募があり、半公開方式のプレゼンテーションと審査会を実施した結果、4 団体の事業が採択されました。

○応募受付期間：2018 年 9 月 1 日（土）～9 月 29 日（土）

○審査会日：2018 年 10 月 17 日（水）

○採択団体と事業：

・（特活）ソルト・パヤタス

「カングラハンの母親たち向け、ライフスキルワークショップ事業」

・フレンズ国際ワークキャンプ九州

「フィリピン農村部でのインフラ整備」

・NPO 法人くまもと未来ネット：

「グローバルなフェアトレード商品開発に向けた事前調査事業」



▲地球市民の会活動の様子

・特定非営利活動法人地球市民の会

「農家の収入向上のためのフェアトレード商品開発に向けた事前調査事業」

○成果

前年度同様、FUNN加盟団体から九州地域の団体に公募対象を広げて行いました。

支援を受けた団体は助成金を有効に活用し、各プロジェクトを効果的に進めることができました。

■ NGO等提案型プログラム

○実施内容

JICA「NGO 等提案型プログラム」は2年目となり、8月に各団体の活動内容を把握するために藤井大輔氏(九州国際大学 現代ビジネス学部 准教授 / FUNN 副代表理事)によるヒアリングを実施。その後、JICA九州での集合研修(11月、2月、3月)を3回、延べ6日間で実施した。

▼参加8団体

フレンズ国際ワークキャンプ九州 (FIWC 九州)

特定非営利活動法人 ISC 糸島スポーツクラブ

JOFA 日本オリジナルフラワー協会

認定特定非営利活動法人 じゃっど

特定非営利活動法人 ピーステクノロジー

一般社団法人 ミドリゼーションプロジェクト

特定非営利活動法人 愛未来

特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会

▼講師及び FUNN 事務局

・講師

第1回・第2回：河合将生氏 (office musubime 代表)

第3回目：永田賢介氏 (NPO 法人アカツキ代表)

・進行調整役

第1回～第3回目：藤井大輔氏(九州国際大学 准教授)

・事務局

原田、森、住本、山田

※第3回目は FUNN インターン生 2 名が参加

○成果

▼参加者数

1 回目 7 団体 23 名

2 回目 8 団体 34 名

3 回目 8 団体 25 名

参加者が自団体の活動を振り返るためにワークショップに力点を置いた。その結果、会員・事務局・理事のそれぞれの立場での気づきと学びを得ることができた。



▲ワークショップの様子



▲講義の様子

1-2. 国際協力に関する調査・提言

1-2-1. 2018年度の方針

NGOのネットワークとして、NGOや市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組みます。

1-2-2. 2018年度の活動

① 国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動

■ 2018年度 NGO・外務省定期協議会 ODA政策協議会

○実施内容

昨年度より継続の5名のコーディネーターにより運営。ことに2018年度は「ODAに関する有識者会議」への対応のために、臨時全体会議を開催するなど、ODA政策のモニタリング、改善に向けての協議を行いました。

○各回詳細：

1. 全体会議 6月5日（火）14：00～16：00 外務省南国際大会議室893号室

- 議 題：（1）平成29年度定期協議会振り返りと平成30年度定期協議会の重点協議事項
（2）平成30年度開発協力重点方針について

2. 第1回ODA政策協議会 7月31日（火）14：00～16：00 外務省内中央669会議室

報告事項

- （1）気候変動をめぐる最新の国際動向
- （2）SDGs達成に向けた政府の取組み報告
- （3）アジア閣僚級防災会議からの報告
- （4）特定秘密の指定におけるODA関連情報等の取り扱いについて
- （5）ODAの枠組みでの軍への協力について
- （6）プロサバナ事業に関する河野太郎大臣「指示」と反する現状について
- （7）開発協力適正会議のこれからと今後

協議事項

- （1）現在の政治状況下における日本の対カンボジア外交とODA事業について

3. 臨時全体会議「ODAに関する有識者懇談会について」

10月30日（火）11：00～12：30 外務省（南666

共用国際会議室）

議 題：（1）「ODAに関する有識者懇談会」開催について

（2）「国際協力NGOの抜本的強化」

（3）「国際協力NGOの抜本的強化」以外の有識者懇談会のテーマ

4. 第2回ODA政策協議会 12月5日(水) 14:00~16:00 外務省南 666 会議室

報告事項

- (1) 2019年度外務省予算要求に向けたODA関連の重点事項について
- (2) ODAに関する有識者懇談会の議論開示と政策・予算への反映について
- (3) 人道支援に対する考え方(人道・開発・平和の連携等) : 2019~20年に向けて

協議事項

- (1) プロサバナ事業をめぐる人権状況に関する指摘についての日本政府の対応
- (2) 日本の難民認定申請者の保護措置について
- (3) NGO支援スキームによる政策環境改善分野への支援に関する提案について

5. 第3回ODA政策協議会 2月25日(月) 14:00~16:00 (独法)国際協力機構 横浜センター(JICA 横浜) 1階 会議室1

報告事項

- (1) 日本NGO連携無償資金協力における一般管理費拡充
- (2) 「ワン・ワールド・フェスティバル」における外務省の参加とNGO向けプログラム「NGO支援制度説明会」の開催報告
- (3) アジア健康構想におけるODAの役割について
- (4) プロサバナ事業に関する報告

協議事項

- (1) OECD-DACにおける最近の議論と日本の対応

【成果】

2018年度は、河野太郎外務大臣の諮問のために「ODAに関する有識者会議」が設置されたが、従来と異なり、NGO外務省定期協議会あるいは国際協力NGOの中間支援組織との事前調整がなく、広くNGOから要望や意見が取り入れられないことが懸念された。そうしたなかで、各中間支援組織と定期協議会の関係者により、有識者会議関係者との懇談会(非公式)や臨時全体会議が開催され、広く意見・要望を取り入れる機会が確保されたことは重要な成果であった。

一方でODA政策協議会の本会議では、多様な議題が俎上にあげられているものの、ODA政策協議会として何を獲得目標として設定すべきかについては必ずしも明確になっていないことも否めない。今後も、海外の援助政策の動向に注視しつつ、政策協議を積み重ねていく必要がある。

■ 秘密保護法 NGO アクションネットワーク (NANSL) / 市民社会スペース NGO アクションネットワーク (NANCIS)

○ 実施内容

FUNNを含む国際協力NGOのネットワーク組織7団体は、2014年4月に設立、活動してきた「秘密保護法 NGO アクションネットワーク (NANSL)」を4月末日に解散し、NANSLの活動を引き継ぎ、より広範な国内外の市民社会スペース全般の課題に対応するためのアクションネットワーク「市民社会スペース

NGO アクションネットワーク（NANCiS／英名：Japan NGO Action Network for Civic Space）」を、2018年5月1日をもって設立した。FUNNは引き続き構成団体として運営に参加しました。

○成果

主に地域ネットワーク型 NGO 7 団体が 1-2 か月に一度 SKYPE による会議を開催。会合には高橋良輔理事が共同代表として参加しています。国際協力 NGO を含む市民社会が活動のよりどころとする、市民が自由に言論、活動、結社できる社会の活動領域（＝市民社会スペース）をめぐる状況は厳しく、国内外で悪化の一途をたどっています。NANCiS では、社会全体の「市民社会スペース」に対する認識を高めるとともに、国内外で活動する市民社会の自由な活動を守るため、「秘密保護法対策弁護団」および「共謀罪対策弁護団」と提携しています。また 2018 年度は日本平和学会企画委員会と共催でパネルディスカッション「市民社会スペースの危機——新たなる不透明性を越えて」を開催（10月27日 龍谷大学・平和学会秋季研究集会）したほか、市民セクター全国会議 2018「市民社会スペースを押し広げる取り組みを知る」に谷山博史共同代表が問題提起を行っています。なお 2019 年度は日本の NGO をとりまく市民社会スペースの状況把握のため、アンケート調査を実施予定です。

■ NGO 非戦ネット

○実施内容

国際協力に関わる NGO や、グローバルな観点から市民活動に関わる市民社会組織による安保法制案や戦争政策に反対するための継続的で緩やかなネットワーク団体である NGO 非戦ネットの活動に賛同し、メーリングリスト等による情報共有を行いました。

○成果

各種の関連イベントの情報共有が行われた。引き続き情報共有のために参加する意義はあると考えられます。

■ 連携推進委員会

○実施内容

昨年度より全国 10 名に増員された連携推進委員が、NGO と外務省との連携により NGO の強化につながる方策を協議してきました。河上理事が担当しました。

○各回詳細：

1. 全体会議 6月5日（火）14：00～16：00 外務省南国際大会議室 893号室
議 題：（1）平成29年度定期協議会振り返りと平成30年度定期協議会の重点協議事項
（2）平成30年度開発協力重点方針について
2. 第1回連携推進委員会 7月18日（水）14：00～16：00 外務省南国際大会議室 893号室

報告事項

- （1）NGOによる事業の成果
- （2）平成29年度草の根無償本邦NGOによるフォローアップ事業（モロッコ・ネパール）

(3) 拡大版SDGsアクションプラン2018と「NGO連携無償」

協議事項

- (1) 緊急人道支援における日本のNGOと国連機関との連携
- (2) NGO活動環境整備支援事業への取り組みの成果と今後の課題
- (3) 「日本NGO連携無償資金協力」の2017年度成果と2018年度協議の重点
- (4) 「NGOとODAの連携に関する中期計画」3年次の進捗状況、今年度の重点項目及び5年間の最終目標に向けて課題について

3. 臨時全体会議「ODAに関する有識者懇談会について」

10月30日(火) 11:00～12:30 外務省(南666共用国際会議室)

議 題: (1) 「ODAに関する有識者懇談会」開催について

- (2) 「国際協力NGOの抜本的強化」
- (3) 「国際協力NGOの抜本的強化」以外の有識者懇談会のテーマ

4. 第2回連携推進委員会 11月21日(水) 14:00～16:00 外務省南国際大会
議室893号室

報告事項

- (1) 平成29年度決算検査報告における日本NGO連携無償資金協力に関する指摘事項
- (2) ソウルODA国際会議およびSDGsに関する韓日CSOラウンドテーブル参加報告
- (3) 国際機関とNGOのパートナーシップ強化のための施策
- (4) 日本のNGO強化策

協議事項

- (1) 「NGOとODAの連携に関する中期計画」今年度の重点項目および5年間の最終目標の設定
- (2) 日本NGO連携無償資金協力とNGO活動環境整備支援事業等の手引き・仕様書の改善

5. 全国タウンミーティング(福岡) 1月20日(日) 13:00～16:00 ぴおとーぶ

- 内 容: (1) 連携推進委員会の概要説明
- (2) 参加者からの意見聴取と議論
 - (3) NGOの強化策について

6. 第3回連携推進委員会 3月7日(木) 14:00～16:00 (特活) ワールド・ビジョン・ジャパン 会議室

報告事項

- (1) 日本NGO連携無償資金協力事業における一般管理費の再拡充

協議事項

- (1) 国際機関と日本NGOの連携強化
- (2) 日本NGO連携無償資金協力事業の手引きの改訂
- (3) 邦人フリージャーナリストのイメン入国に際した旅券返納命令
- (4) NGO活動環境整備支援事業の各スキームの改善点
- (5) 「NGOとODAの連携に関する中期計画」これまでの成果とその検証
- (6) 「日本の国際協力NGO強化優先10項目」のフォローアップ

7. 連携推進委員会タスクフォース 外務省会議室（スカイプ参加）

日付：10月23日（火）、11月12日（月）、12月6日（木）、12月19日（水）、12月26日（水）、1月15日（火）、1月25日（金）、4月5日（金）

参加者：連携推進委員、外務省国際協力局民間援助連携室

- 内容：（1）NGO連携無償資金協力の手引き・仕様書の改善について
（2）NGO活動環境整備支援事業の改善要望について
（3）一般管理費変更についての説明

○成果

全国の86団体からの意見集約を実施し、それをもとにNGO・外務省定期協議会臨時全体会議において「日本の国際協力NGOの抜本的強化優先10項目」が提出されました。

一般管理費15%へ拡充するための外務省との協議が進み、成果がありました。

また、福岡を含む全国5か所で連携推進委員会タウンミーティングを実施しました。各地のNGOからの生の声を集めて今後の協議に生かしていきます。



全国タウンミーティング（福岡）

■ 2018年度NGO-JICA協議会

○実施内容

NGOとJICAの対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するための意見交換であるNGO-JICA協議会に参加。原田理事が担当しました。

○成果

NGOとJICAの連携に係る最新情報の入手や、NGO等関係者とのネットワークづくりの場になりました。

1-3. 国際協力に関する情報・学習機会の提供

1-3-1. 2018年度の方針

潜在層・関心層の掘り起こしや、層の中や外がつながるための場づくり・工夫に取り組み、国際協力の活性化を目指します。

1-3-2. 2018年度の活動

① 国際協力に関する情報の提供

■ 国際協力ニュース

○実施内容

国際協力、NGO、加盟団体、FUNNの活動の情報発信ツールとして、4回、各700部を発行しました。年6回の発行予定でしたが、事務局スタッフの不足により4回の発行となりました。

○成果

加盟団体、個人会員、地域NGO/NPO、教育機関、行政等の施設に配布することができました。1月発行

の機関紙では FUNN の事業内容を分かりやすく伝えることをテーマに作成。これ 1 冊でおおまかな団体概要がわかる作りとなっています。

■ メールマガジン「Fun ! Fan ! FUNN !」、Facebook、Twitter

○実施内容

FUNN や加盟団体を中心とする NGO のイベントやボランティア情報などを掲載したメールマガジン（342～365号）を隔週水曜日に発行しました。また、Facebook、Twitter などのツールを活用し、FUNN や加盟団体のイベント、活動情報を提供しました。

○成果

最新情報の収集と提供を意識して取り組むことができました。各種広報媒体を見てイベント等に参加をした市民もいました。

2019年3月31日時点の登録者数など

Facebook	566	いいね
Twitter	696	フォロワー
ウェブサイト	9,616	UU(ユニークユーザ/年)
メールマガジン	401	登録者

② 国際協力に関する学習機会、参加の場作り

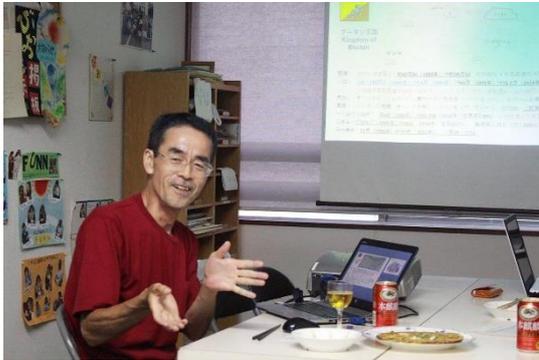
■ 倶楽部 FUNN

○実施内容

国際協力に対する理解を深め、国際協力に関心のある市民が出会い・交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場を開催しました。

開催日	タイトル	講師	参加者数
5月18日(金)	YouTubeチャンネル『びっくり！インドネシア』を観ながらニヤニヤする会	住本大輔	3名
6月15日(金)	3月、ニューヨーク、国連／NGO 女性の地位委員会に参加して	安村 妙	6名
7月20日(金)	ブータン今昔、幸せのあり方・感じ方	佐々木 健一	11名
9月21日(金)	ベトナムにおける発展とその裏：社会に取り残された子供たち	タ・ティ・バン	9名
10月26日(金)	IT立国の道を歩むバングラデシュ～現地の生活を通して得た学びと教訓～	川内 大和	14名
11月2日(金)	ことばより行動、外国人労働者を支援して17年	クリス・フリン	12名
12月21日(金)	交流会		15名
1月11日(金)	デンマーク研修体験記～豊かさのルーツを求めて～	河部 正	16名
2月15日(金)	NGOとわたし	原田 君子	14名

3月8日(金)	国際協力と発信の重要性	宇佐美輝	9名
---------	-------------	------	----



▲7月の様子



▲1月の様子

○成果

国際協力に関心がある市民の参加機会を提供する入門編の事業として開催し、計 109 人が参加しました。NGO の理解、参加促進につなげることができました。

■NGO 合同説明会

○実施内容

国際協力を知りたい、NGO の活動に参加したいという大学生を対象に、講座とNGOのブース出展を組み合わせたイベントを西南学院大学と連携して実施しました。また、本説明会に出展した団体が企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生へ参加費補助を行う仕組みが設けられました。

●日時：6月13日(水) 15:15~18:00

●会場：西南学院大学

●出展8団体：(特活) エスペランサ、国際教育交換協議会、(特活) ソルト・パヤタス、チベットを知る会、NPO 法人 NICE、フレンズ国際ワークキャンプ九州、ボランティアプラットホーム、(特活) NGO 福岡ネットワーク

●参加者：56名

○成果

ボランティアや国際協力に関心の高い学生が福岡の NGO と出会い、実際に現場の話を聞くことができ良かったと好評でした。また、合同説明会に出展した NGO が企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生に対して、西南学院大学から参加費の一部補助を行う制度も実施されました。



■第1回SDGs勉強会

○実施内容

西日本新聞坂本氏を講師に招き、「外国人労働者問題を考える」をテーマに話をさせていただきました。

- ・日時 2018年10月16日(火) 19:15～20:45
- ・場所 あすみん
- ・参加費 無料
- ・参加者 33名

(特活)NGO福岡ネットワーク主催
第1回SDGs勉強会
外国人労働者問題を考える
平成30年 19:00 開場
10月16日(火) 19:15 開始
20:45 終了予定

【講師】
西日本新聞記者
坂本 信博氏
Sakamoto Nobuhiro

西日本新聞記者、
オンライン型字組記者や自社勤務を経て現職。
高学識を志し、主に社会部で、医療・教育・安全保険・子どもの
貧困など多岐に。
高増する外国人労働者を取材した西日本新聞のキャンペーン報道
『新移民時代』取材団キャップとして、優れた報道を表彰する
『石橋山にたて 早稲田ジャーナリズム大賞』年の機民主義部門
で大賞受賞。



○成果

「SDGsについて知ってもらう、国際協力について考えてもらう」事を目標に掲げ、本垣内理事の企画のもと第1回目の勉強会を開催しました。参加者からは今まで「知らなかった、気付かなかった」事を知る事ができたとの感想がありました。福岡に多いベトナムやネパール留學生の生活実態を描きながら、日本人が就労したくない現場で働く実態を知るいい機会となりました。

■外務省「NGO 相談員」

○実施内容

外務省 NGO 活動環境整備支援事業「NGO 相談員」を受託し、市民・企業・行政・教育機関等からの NGO や国際協力に関する相談業務を行いました。2018 年度の年間相談件数は 604 件（17 年度 578 件）でした。

○成果

2018 年度は、「九州における NGO 相談員制度の認知度拡大」を目標に実施しました。

相談業務を行う上で知り合った団体へのフォローアップを年間を通して行いました。その結果、FUNN が提案した助成金を獲得し、その報告書作成までをサポートすることとなりました。FUNN では、その団体が初めて国際協力を行うという段階から継続的に相談を受けており、申請書・報告書の書き方、参考事例などを提示することで、着実に国際協力 NGO としての力をつけていかれました。今後もこのような事例を増やし、またその内容を発信することで効果的な施策を続けていきたいと思ひます。

■ NGO 相談員「出張サービス」

○実施内容

市民などからの相談対応を通じた国際協力の理解促進を目的に、国際協力関連のイベントなどにおける相談対応や講演活動を積極的に実施しました。2018 年度は 7 件の出張サービスを実施しました。

日程	企画名	場所
2018 年 11 月 3 日 (土) 4 日 (日)	「アミカス 30 周年祭」での NGO 相談員 PR ブース出展	福岡市男女共同参画推進センター・アミカス
2018 年 11 月 18 日 (日)	「国際協力フェスタ地球市民どんたく」での NGO 相談員 PR ブース出展	天神中央公園
2019 年 1 月 17 日 (木)	熊本市国際交流振興事業団へのアウトリーチ	熊本市国際交流振興事業団
2019 年 1 月 19 日 (土)	福岡県行橋市立泉小学校への出張講義	福岡県行橋市立泉小学校
2019 年 2 月 9 日 (土)	国際理解・国際交流イベント『クロスロードコミュニケーション』への登壇・相談対応	JICA 九州
2019 年 3 月 24 日 (土)	ひゅうがイースターフェスティバル	宮崎県日向市ひむかの杜
2019 年 3 月 29 日 (土)	佐賀国際交流センターへのアウトリーチ	佐賀国際交流センター



▲宮崎県日向市ひむかの杜にて



▲佐賀国際交流センターにて

○成果

イベントへの出展、九州各県の国際交流協会・国際協力推進員との連携、学校への出張講義を行いました。目的としては、①地域の国際協力の状況ヒアリング、②NGO 相談員事業の紹介、③NGO 相談員受託団体の活動紹介、④国際協力機関等と NGO 相談員受託団体との連携可能性の検討、⑤国際社会への興味・理解の促進 を目指して行いました。出張時にはそのレポートをできるかぎり Facebook へ掲載、相談員制度の認知向上・理解促進ができ、次年度からのさらに積極的な活用につながりました。

■ 講師派遣・講演登壇

○実施内容

大学や小中高校での総合学習の授業、市民・他団体の取組・企画に FUNN 職員などを派遣、および派遣の調整を行いました。

日程	授業・企画名	主催者／依頼者	場所	参加者数
7月13日(金)	国際協力実践論	藤井大輔 理事	九州国際大学	約50名
12月4日(火)	グローバルイシュー入門	九州産業大学国際文化学部 内田直文 教授	九州産業大学	約50名
3月2日(土)	「自発性を促し、持続性のある国際協力を目指して」をテーマに講演	第37回日本国際保健医療学会	第一薬科大学	約100名
3月26日(月)	北九州市アジア女性交流・研究フォーラム	北九州市アジア女性交流・研究フォーラム	北九州市立男女共同参画センター・ムーブ	約20名

1-4. NGO 活動に関する人材育成

1-4-1. 2018 年度の方針

FUNN や福岡の国際協力活動の発展に資する人材の確保・育成のための活動に取り組みます。

1-4-2. 2018 年度の活動

① 人材確保・育成の為に施策

■ ボランティア

○実施内容

国際協力や NGO の活動に関心のある方を FUNN のボランティアとして受け入れました。NGO 相談を通して「ボランティアをしたい」という市民への相談にも応じ、加盟団体の活動紹介や仲介などを行いました。

○成果

国際協力ニュースの発送作業やイベント時のブース手伝いなど協力をいただきました。



▲多くのボランティアが参加しました

■ インターン

○実施内容

インターンを4名受け入れました。

名前	期間	派遣元
蘇 家琪 さん	7/27~8/10	個人申し込み
タ・ティ・バン さん	8/1~10/31	「アジア留学生等支援基金」助成事業 アジア留学生インターン受入れ助成プログラム
大平 帆南 さん	2/12~3/22	NPO 法人ドットジェイピー

○成果

国際協力ニュースの制作、倶楽部 FUNN への登壇、SNS の運用、SDGs 教材の作成などに関わっていただきました。ドットジェイピーからの 2 人は、インターンのすべてが参加する最終報告会において、最優秀賞を受賞しました。



1-5. NGO 間及び各種団体との連携促進

1-5-1. 2018 年度の方針

国際協力の理解促進、発展、社会的課題の解決を目指して、NGO と NGO を繋ぎ、NGO とは異なるセクターを繋ぐことによる相乗効果を目指します。

1-5-2. 2018 年度の活動

① ネットワークの構築

■ ネットワーク活動

○実施内容

(特活) 国際協力 NGO センター、(特活) 関西 NGO 協議会、(特活) 名古屋 NGO センター、独立行政法人国際協力機構九州国際センター、JICA 国際協力推進員、(公財) 福岡よかトピア国際交流財団、福岡国際関係団体連絡会 (FUKU-NET)、(公財) 福岡県国際交流センター、福岡県 NPO・ボランティアセンター、福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」、福岡市人権啓発センター「ココロセンター」、福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」、佐賀県国際交流協会、おおいた国際交流プラザ、長崎県国際交流協会、熊本市国際交流会館、宮崎県国際交流協会、鹿児島県国際交流協会など FUNN が加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換、連携促進を図りました。

○成果

関係機関とは日常的に連絡を取り合ったり、各施設を定期的に訪れることで、お互いの相談に応じたり、事業面での連携が実現するなどの良好な関係を構築することができました。

2.組織

2-1. 組織運営・体制

役員

【理事】

二ノ坂保喜／（特活） Bangladesh と手をつなぐ会 代表 [代表理事]
藤井大輔／債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表、九州国際大学現代ビジネス学部 准教授 [副代表]
楠原圭子／アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム 事務局 [副代表]
河上雅夫／NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク 理事
高橋良輔／青山学院大学地球社会共生学部教授
瀧本昌平／債務と貧困を考えるジュビリー九州 事務局長
原田君子／（特活）NGO 福岡ネットワーク 事務局長
本垣内英人／一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン 理事
本田正之／（NPO法人）循環生活研究所スタッフ

【監事】 安部昌明／（特活）明日のカンボジアを考える会 代表

事務局

【事務局長】 原田君子

【事務局スタッフ】 北風友、森智子、岩本直子、多原真美、山田英行、住本大輔

【インターン】 蘇家琪、タ・ティ・バン、大平帆南、富嶋菜々香

- 通常総会：2018年5月6日（日）福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」共同大会議室
- 通常理事会：毎月1回
- 事務局会議：毎週1回火曜日

2-2. 会員

正会員（全28団体）

NPO法人ISAPH

アジア開発銀行福岡NGOフォーラム（FNA）

（特活）アジア女性センター

（特活）明日のカンボジアを考える会

認定NPO法人ACE

（特活）エスペランサ

（一財）カンボジア地雷撤去キャンペーン

（特活）九州海外協力協会

コミュニティコミュニケーション・サポートセンター（Commu）

債務と貧困を考えるジュビリー九州

佐賀NGOネットワーク

JVC九州ネットワーク

NPO法人聖母

認定NPO法人ソルト・パヤタス

NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク

認定NPO法人地球市民の会

チベットを知る会

NPO法人トゥマンハティふくおか

（特活）NICE

国際協力NGO NESTEP

ネパール歯科医療協力会（ADCN）

（特活）バングラデシュと手をつなぐ会

バングラディッシュピルガゾン村診療所実行委員会

PP21ふくおか自由学校

（財）福岡YMCA

フレンズ国際ワークキャンプ九州（FIWC九州）

モザンビークのいのちをつなぐ会

（特活）じゃっど（2018年12月加入）

個人会員

賛助会員（個人） 18名

賛助会員（団体） 0

賛助会員（企業） 0

通信会員 33名

以上